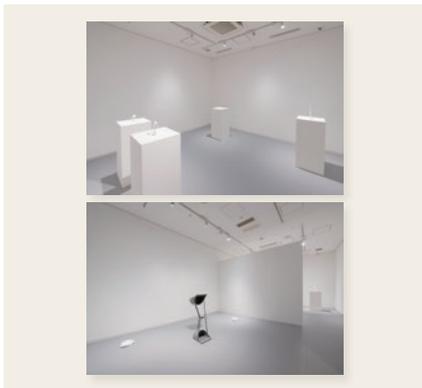
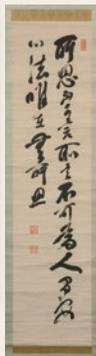




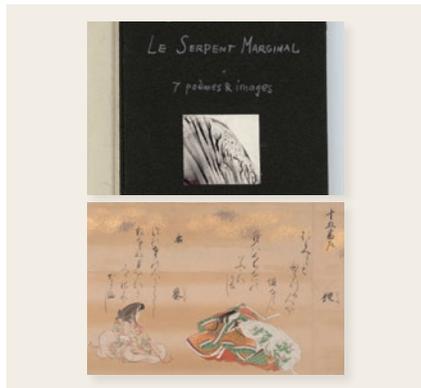
福澤諭吉書「所思不可言」
(飯田茂勝氏旧蔵)



SHOW-CASE PROJECT Extra-1 富井大裕 モノコトの姿

会期：～ 2025年1月24日(金)
土日祝・12月28日(土)～1月5日(日) 休館
会場：慶應義塾大学アート・センター
(三田キャンパス南別館1階アート・スペース)

展示室という四角い箱、それはまたひとつの「展示ケース」かもしれない。作家はそこに何を仕掛け、空間はどう応えるのか。小さな展示室から発信する新しい挑戦をぜひご覧ください。



KeMCo 新春展2025 へびの憩う空き地

会期：2025年1月9日(木)～2月7日(金)
1月18日・2月1日土曜特別開館
土日祝・1月20日・2月3日休館
会場：慶應義塾ミュージアム・ commons

新年の幕開けに、2025年の干支「へび」にまつわる稀覯本、展覧、鏡、写真、装飾類など多様な作品を集めます。洋の東西を問わず多彩なイメージで文物に表される、少し怖い、でも鮮やかなへびたちの住処に皆さまをご案内します。

慶應義塾福澤研究センター 新収資料展2025

会期：2025年1月10日(金)～2月8日(土)
日祝休館
会場：福澤諭吉記念慶應義塾史展示館 企画展示室
慶應義塾では1月10日の福澤先生誕生日に記念会を催す習慣が明治時代の末より100年以上続いています。戦後はこの日に合わせて新しく慶應義塾が入手した資料をお披露目するようになり、展示館開館後は展示期間が1カ月になりました。

本誌『塾』について

『塾』は慶應義塾と塾生、保護者を結ぶコミュニケーションツールとして1963(昭和38)年に創刊されました。年4回の発行のうち、冬号については2011年より「社中特別号」として塾員の皆さまにもお届けしています。春(4月)、夏(7月)、秋(10月)の各号やバックナンバーは、義塾公式Webサイトにてお読みいただけます。ぜひご覧ください。

慶應義塾Webサイト『塾』バックナンバー [URL https://www.keio.ac.jp/ja/about/learn-more/publications/juku/](https://www.keio.ac.jp/ja/about/learn-more/publications/juku/)
HOME → 慶應義塾について → もっと知る → 広報誌・パンフレット → 塾

CONTENTS	演説館	1	MEDICAL OFFICE	21
	変わる図書館、変わらない図書館 慶應義塾図書館長 須田伸一		ナース・プラクティショナー (NP) の医療ニーズへの貢献 看護医療学部教授 鈴木美穂	
	特集 パリ2024を振り返る	2	サークルNOW	22
	—塾生の出場選手・サポーターに聞く—		●劇団EnTRoPy ●地理倶楽部	
	塾員山脈	9	一貫教育校の広場	23
	フェンシング(フルール) 選手 宮脇花繪 君		普通部125年演説会 普通部教諭 正岡知晃	
	半学半教	14	談話室	24
	●法学部教授 出口雄一 ●医学部教授 福永興志		時間哲学者の音楽的遺産 文学部教授 平井靖史	
	ステンドグラス	16	社中の丘	25
	小泉信三賞全国高校生小論文コンテスト		慶應義塾のこの1年	28
理想の母校とは?	18	BOOK WINDOWS	33	
—塾員とのつながりを求めて		萬來舎	34	
慶應義塾長 伊藤公平				
FRONTIER	20			
ふれあいを越える「身体リンク」の実現へ				
理工学部教授 桂 誠一郎				